

伊勢崎 5 ロータリークラブ・須川崇志合同事業  
市内中学校吹奏楽部（高校生含む）のコントラバス演奏者への支援事業報告書

日時：2024年6月2日（日） 場所：赤石楽舎（伊勢崎市曲輪町28番24号）

時間：11：00～17：10

11時～15時位まで、コントラバスのメンテナンスとレッスンを各校順番で行う

15時40分～主催者及び後援者のあいさつ・参加者紹介

16時～17時10分 ワークショップ、質疑応答

ワークショップ参加人数：約60名

趣旨：伊勢崎5ロータリークラブによる合同事業で、群馬県ロータリークラブが幹事クラブとして開催し、伊勢崎市内の中学生及び高校生への吹奏楽部に対して支援を行った。生徒各自のコントラバスを一流のコントラバスリペア職人により弦を張り替え、修理、調整を行い、伊勢崎市の教育アンバサダーであるプロのジャズベーシストである須川崇志様から演奏指導を受ける。最後のワークショップでは合同演奏を行う。

参加校：伊勢崎商業高校（1台）、四ツ葉学園（2台）、宮郷中学校（2台）

第三中学校（2台）、赤堀中学校（2台）、伊勢崎高校（1台）

※市内各校における計10台のコントラバスをメンテナンス



ワークショップでは、最初に伊勢崎市出身である須川様から挨拶をいただきました。「コントラバスをメンテナンスしたら、音が変わった。修理するとこんないい音が出るんだ」と、生徒さんが話されたそうです。また、須川様からの言葉で、「音楽は人間の精神を育むもので、言葉にならない感覚が大事である。音楽で感動することが将来の拠り所となる。それ故に、いい道具で環境を作ってあげて欲しい」とお話されました。

また、伊勢崎市の三好教育長からも文化・芸術活動に励んでいる本市吹奏楽部への支援に対してお礼を述べられ、生徒たちへ「美意識に対して音楽を通して感じて欲しい」とご挨拶いただきました。

16時からのワークショップでは、8名の生徒が各パートの音を奏でました。須川様の指導のもと、皆、どんどん音がよくなりました。そして、最後に素晴らしい合同演奏を聴かせていただきました。

最後に須川様から生徒に対して、「どうやったらいい音を出せるかは、でたらめでも試すこと」「音には様々な役割があり、音合わせは人生そのものである」「コントラバスは音が低く脇役に感じるが、自分がいい音を出していると思っていれば相手にも届いている」などなど、音楽を通して人生の教訓となるお言葉をいただきました。



須川崇志氏：伊勢崎市出身のプロジャズベーシストで日野皓正や渡辺貞夫、米津玄師と共演された経歴を持ち、最近では自らのバンド「須川崇志バンクシアトリオ」を率いて活動している。また、伊勢崎市の教育アンバサダーも務めている。

※収支報告に関しては、群馬県ロータリークラブより今後、ご報告をいただきます。

※久保木ガバナー補佐代行におかれましては、年度途中からの大役、大変お疲れ様でした。

(報告者：加藤 学)